

No. 2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成28年度 第3回)

事業評価対象事業の一覧表及び位置図

平成28年度第3回 事業評価対象事業の一覧表

(事後評価)

No.	事業種名	事業名	完了年度	事後評価理由	事業概要
2	港湾事業	大阪港北港南地区～南港地区 臨港道路整備事業	H23	事業完了後 5年以内	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：埠頭間連絡道路として大阪港夢洲地区および咲洲地区の交通量増加に対応すると共に、臨海部の幹線ネットワークとしてみなと全体の交通需要の円滑な処理を行う。 ●事業化年度：平成12年度 ●完成供用：平成23年度 ●全体事業費：1,047億円

(再評価)

No.	事業種名	事業名	前回評価年度 (新規採択)	再評価理由	事業概要
1	河川事業	由良川直轄河川改修事業	H25	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：「由良川水系河川整備基本方針」で定めた目標に向け、上下流および本支川バランスを踏まえた段階的な整備を行い、昭和34年伊勢湾台風規模の降雨により発生する洪水に対して浸水被害の防止または軽減と、平成16年23号台風、平成25年18号台風、平成26年8月豪雨と、近年で3度の甚大な浸水被害が発生した地区の被害軽減を図る。 ●事業化年度：平成15年度(由良川水系河川整備計画:平成25年6月策定) ●全体事業費：1,557億円 ●事業の進捗：約65% ●今後の予定：当面は、下流部で輪中堤・宅地嵩上げ、中流部で連続堤整備および河道掘削等、福知山市街地において既設排水機場の増強を行う。
2	港湾事業	和歌山下津港本港地区 国際物流ターミナル整備事業	H25	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：同港背後に立地する企業の物流効率化を図り、地域の産業競争力の向上を支援するとともに、東南海・南海地震等の自然災害に対する地域防災力の強化を図る。 ●事業化年度：昭和50年度 ●全体事業費：745億円 ●事業の進捗：約91%
3	道路事業	一般国道161号湖北バイパス	H25	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：国道161号の滋賀県高島市内の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び冬期の円滑な交通の確保を目的とした延長10.8kmの道路。 ●事業化年度：昭和48年度 ●全体事業費：300億円 ●事業の進捗：約70% ●今後の予定：早期の開通を目指す。
4	道路事業	一般国道8号米原バイパス	H25	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：国道8号の滋賀県長浜市、米原市及び彦根市内の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び冬期の円滑な交通の確保を目的とした延長10.3kmの道路。 ●事業化年度：昭和41年度 ●全体事業費：700億円 ●事業の進捗：約58% ●今後の予定：早期の開通を目指す。
5	道路事業	一般国道27号西舞鶴道路	H25	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：国道27号の京都府舞鶴市内の交通混雑の緩和、交通安全の確保、高速道路へのアクセス強化及び緊急輸送道路としての機能向上を目的とした延長4.9kmの道路。 ●事業化年度：平成19年度 ●全体事業費：245億円 ●事業の進捗：約8% ●今後の予定：早期の開通を目指す。
6	道路事業	一般国道42号すさみ串本道路	H25	①	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：国道42号の和歌山県すさみ町及び串本町内の防災・災害時の交通確保、救急医療活動の支援及び安定した交通の確保を目的とした延長19.2kmの道路。 ●事業化年度：平成26年度 ●全体事業費：710億円 ●事業の進捗：約1% ●今後の予定：早期の開通を目指す。
7	砂防事業	九頭竜川水系直轄砂防事業	H25	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：九頭竜川流域からの土砂流出を抑制し、真名川ダム、笹生川ダムの治水機能を長期に渡って確保するとともに、公共施設の保全を図るもの。 ●事業化年度：昭和53年度 ●全体事業費：1,083億円 ●事業の進捗：約35% ●今後の予定：事業の着実な進捗を図る。
8	港湾事業	大阪港南港東地区 国際物流ターミナル整備事業	H25	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：取扱い岸壁が分散している製材を集約し物流効率化を図ると共に、北南米向け鉄鋼・鋼材輸出の積出拠点港としての機能を高めることにより国際競争力の強化を図る。 ●事業化年度：平成8年度 ●全体事業費：118億円 ●事業の進捗：約32% ●今後の予定：関連事業との整合を図りつつ、早期の供用を目指す。

[再評価理由]

- ①: 事業採択後3年間で経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間で経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間で経過している事業
- ④: 再評価実施後3年間で経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

